

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

# KOZMOS

特集 MY FAVORITE BOOK

S.62(1987)  
創立百周年

S.52(1977)  
朝霞校舎  
開設

S.4(1929)  
落成

H.7(1995)  
2号館(図書館研究棟)  
落成

S.46(1971)  
八十周年記念図書館  
落成

S.36(1961)  
工学部設置

S.24(1949)  
新制大学発足  
総合大学化

白山図書館の変遷

## 幼なじみの海外旅行

田中秀幸

春が来て、旅に出たくなった。でもあいにくカネもヒマもないので、『トーマス・クック時刻表』を眺めながら空想の旅を楽しもうと思う。

出発は4月28日にしよう。時差で夕方にはヨーロッパに着ける。帰りは5月7日、成田着が8日だ。しめて11日間。この短期間で、どれだけ街を見て回れるか。

まずは起点と終点を決めよう。行きたい所——ロンドンとマドリッドなんてどうだろう。決めた。どちらも観光には丸一日分を当て、この二都市間を時計回りで旅する

## アメリカから輸入するもの

石川圭介

戦後の教育・研究は、アメリカの背中を常に追いかけてきた。特に理科系の学生が、いや日本の全ての大学といっても過言でない

ことにして、あとは無理のない範囲で旅程組みである。

時刻表を取り出し、巻頭に近いインデックスの頁を繰ってロンドンの大見出しを探す。続く小見出しの都市から行きたい街を選ぶ——アムステルダムにしよう。15とあるが、これは時刻表の番号なので、表15を開くと、勿論両都市間のダイヤである。見れば19時発、一度乗り継いで翌朝9時4分着の夜行便がある。夜行はほとんど眠れないけど、宿代が浮くところが魅力だ。

アムスも一日だけにした。宿は取らず、また夜行で次の都市——ウィーンへ。表15の頁下にアムスからの路線略図が載っているから、それを見て表35へと進む。20時56分発10時58分着の便があるので、これにする。

い。つい昨日まで、アメリカの研究がとても眩しく、遥かなる目標でもあった。

あつという間の半世紀が過ぎて、車やコンピュータを例にあげ、アメリカに学ぶものなしと、過激な、勇ましい発言も飛び出す今日である。

日本の大学の現状がいろいろな点で、議

ウィーンには一泊して二日しよう……。

と、こんな具合にして旅程を決めていくのです。意外と路線のない区間があったり時間がうまく合わなかったり、旅程がどんどん変わってしまうので始めるとつい我を忘れて没頭してしまふ。結局できたコースは次のとおり。移動は全て夜行になった。

成田発(夜ロンドン着・泊)ーロンドン(車中泊)ーアムステルダム(車中泊)ーウィーン(泊)ーベネチア(車中泊)ーパリ(泊)ーマドリッド(泊)ー成田着。

これで個人旅行の旅はたった、なかなか楽しい旅ができそう。あとは先立つものとヒマをなんとか捻り出せば、準備完了である(結局これが一番難しい)。

(図書館員・たなかひでゆき)

論の対象になり多くの書物が出版されている。大学とは、と改めて考えてみようとして、関連する本を漁ってみた。その中に、浦田誠親先生の書かれた『アメリカの小さな大学町』(玉川大学出版部)があった。

日本の大学にあって、アメリカの大学にないもの、または逆のものについて、比較

されている。大学をより良くしようとする努力はおざなりなものではない。教員だけでなく、職員も、学生も、社会も含めて常に学問のもつ普遍的価値を信頼する共通認識が、アメリカの大学を高い水準に保たせていることが、全体にわたって読み取れる。また、地域と大学との絆の強いことも一つの理由として理解出来ます。

## 好奇心・博物館

N・C

朝霞図書館の入口に最も近い位置に百科事典のコーナーがあります。そこには、事典よりもかなり薄い数十冊の本『ビジュアル博物館』がおかれています。

この本を読んで価値観が変わったり、その後の人生が決定されたりすることはごく稀だとは思いますが、好奇心旺盛な人や暇のある人は眺めてみると引き込まれるかもしれません。

博物館は、古今東西にわたる歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料や

小さな大学はいうまでもなく、姉妹校、モンタナ大学です。先生は文学部の教授で、大学町ミズーラに滞在された間の体験を、教員にも学生にも、時には暖かい、時には厳しい目で、彼我の違いを観察されている。入れ物（形式）は同じでも、中味は似て非なるのが悲しいかな現実です。

ミズーラという人口8万弱の町の四季折々

作品を組織的に収集保管、展示して一般大衆の利用に供する施設で、これらの本は、鳥、犬、猫などの動物や、船、車、鉄道などの乗物、古代エジプト、ギリシアなどの古代や中世の民族道具や自然現象など現時点で約50タイトルあります。

生物の類ではその生物の体のしくみや進化の過程、習性、人間との関わり方など、乗り物ではそれらの構造や歴史から、地域ごと時代ごとにどのような社会的役割を果たしたかまで、民族では衣食住や美術や宗教や社会制度、後世に与えた影響などが、豊富な絵や写真の資料で紹介されています。その方面に疎い人でも、全く関心がなかったり、嫌いでなければ、資料が整理されて

の風物や、エピソードも楽しい読み物であります。

多くの学生諸君が特権を利用して世界の大学に学び、真に学ばなければならぬものは何かを、実体験されることを望みます。我々には、まだまだ学ぶものが、本当に輸入しなければならぬものがあるのです。（工学部教授・いしかわけいすけ）

いるのでわかりやすいでしょう。また相当詳しい人でも、豊富な資料は役に立つ余地があるかもしれません。

何か目的の資料をさがす、という利用の仕方でもできますが、好奇心の赴くまま端から眺めていくのも良いでしょう。貸し切りの博物館の中を自由に見て回るような感覚になります。ただし参考図書なので借り出しはできません。図書館の中だけのお楽しみです。

（文学部哲学科二年・N・C）

『武道伝来記』は、井原西鶴作の武家物  
浮世草子。貞享四年（一六八七）四月刊。  
板元は、江戸萬屋清兵衛・大坂岡田三郎右  
衛門。

本学図書館所蔵本は初版。次に簡単な書  
誌を記す。

大本 八卷八冊  
外題 表紙左肩に子持粹題簽縦十八・

三×横四・〇  
センチメートル

諸国  
敵討 武道伝来  
記（一〇八）  
絵入

目録題 「武道伝来記

諸国敵討

卷一（一〇八）

内題 なし

柱刻 「武道（武道鑑）卷一（一〇八）

〔丁数〕」（『武道鑑』とあるの  
は、卷一、十三・十四・十六・

二十四丁、卷三、十七）二十丁、  
卷五、五・八丁、卷四・卷七、

全丁）

匡郭 四周単辺二十・八×十五・五セ

ンチメートル

構成 卷一、序（二丁）・目録（二丁）・

本文（二十三丁半）、卷二、目  
録（二丁）・本文（二十丁）、卷

三、目録（二丁）・本文（十九  
丁半）、卷四、目録（二丁）・本

文（二十一丁半）、卷五、目録  
（二丁）・本文（十九丁半）、卷

六、目録（二丁）・本文（二十

### 貴重書解題

## 『武道伝来記』

中山尚夫

一丁半）、卷七、目録（二丁）・

本文（十八丁半）、卷八、目録

（二丁）・本文（十九丁）・刊記

（半丁）

挿絵 吉田半兵衛風画

卷一、三ウ・四オ、九オ、十五  
ウ・十六オ、二十二オ。卷二、

三ウ・四オ、九オ、十三ウ・十  
四オ、十九ウ・二十オ。卷三、

三ウ・四オ、九ウ、十三ウ・十

四オ、二十オ。卷四、四ウ・五

オ、十オ、十四ウ・十五オ、二

十二オ。卷五、四ウ・五オ、八

ウ、十四ウ・十五オ、二十オ。

卷六、三ウ・四オ、九オ、十五

ウ・十六オ、二十一オ。卷七、

三ウ・四オ、十オ、十四ウ・十

五オ、十九オ。卷八、三ウ・四

オ、九オ、十三ウ・十四オ、十

九オ。

刊記 「貞享四年卯初夏／江戸日本橋

青物町萬屋清兵衛／大坂呉服町

真齊橋筋角岡田三郎右衛門」

印記 果園文庫蔵書印

本作は、目録題に「諸国敵討」とあるよ

うに、諸国に伝わる敵討話を広く集めたも  
のである。全三十二話。序に「中古武道の

忠義諸国に高名の敵うち其はたらき聞伝て」  
という中古とは、近世初期、寛文（一六六

一（一六七三）頃迄を意味している。本作  
より四ヵ月前の貞享四年正月に出版された

『男色大鑑』で、衆道にもとづく敵討を描

いた西鶴は、以来、武家を描くことに精力を傾けた。彼の描く武家・武士道は、「見ぬ世」すなわち戦国時代以前の英雄譚ではなく、彼が生きた太平の世の武士道における敵討譚である。本作の収録咄すべてが当時の巷説に取材したものであるが、元禄十二年刊の『日本武士道』で「近年武道伝来記と名付て世に弘むるあり。窺之見るに一として実あることなし。猥かはしき虚亡の説のみなれば人の教になるべき物にしも非ず」と批判されるように、史実を正確に写したり、教訓性を持たせたりということとより、咄としての面白さを第一義とした西鶴の浮世草子作者としての姿勢が示されている。

本作が出版された翌月（五月）に、『武道一覽』（神保氏入道作、西沢太兵衛版）が刊行されたが、本作出版に際して、この作品との関連が様々考えられている。

①本作の柱刻に「武道」「武道鑑」の二種があるのは、当初本作を『本朝武道鑑』のごとき書名で出す予定であったものが、『武道一覽』出版の情報が伝わり、本作の書名を急遽変更した。

②『武道一覽』の内題（『武道一覽』）は入木であり、同作の柱刻に「姿」とあるのは、この作品が改題本であることを示している。すなわち旧版を『武道伝来記』出版に合わせて改題出版したもので、それだけ西鶴の人気を物語るものである。

といったものである。また、本作本文中各章の章題上の番号を囲む枠の形が異なるものがあったり、番号・枠ともになかったりといった体裁上の不揃いは、全巻一時に成稿あるいは版下清書が行われたものでないことを推察させる。

右のように、書誌の面からもいくつかの問題点を含んでいる本作は、西鶴本出版事情を探る点でもきわめて興味深い作品といえよう。

（文学部助教授・なかやまひさお）



井原西鶴像

当館所蔵の西鶴本貴重書には、「西鶴俗つれつれ」「武道傳來記」「世間胸算用」「武家義理物語」「古今武士形氣」「本朝二十不孝」「西鶴諸國はなし」「新可笑記」「本朝櫻陰比事」「西鶴置土産」「日本永代蔵」「浮世榮花一代男」「西鶴織留」「萬の文反古」「好色一代男」「諸艶大鑑 好色一代男」「好色五人女」「西鶴なこりの友」等があります。

今後とも続々と当スペースでご紹介していきますのでご期待下さい!!

昭和二四年本学が新制大学に移行し、新学部、学科の新・増設に伴い、図書増加に蔦の絡まった図書館（昭和四年完成）が対応しきれずに、学内各所に図書が分散し、利用者は勿論のこと図書館員にとっても図書の維持管理面から大変苦勞を強いられていた。このような状態を早急に解消しなければならぬということから、新図書館建築が叫ばれていた。大学紛争などがあり延びのびになっていったが、昭和四六年待望の図書館が完成した。

この図書館は、工学部建築学科の平山研究室の設計になるもので、利用者の希望をかなり考慮されており、なによりも、当時としてはチェックポイントがなく誰でも自由に入館できる新しい設計でした。また、用地の関係で書庫が高層化されたため図書の出納に時間がかかることが予想され、オート・エレコンを取り入れ貸出事務の簡素化を計ったことでした。

今振り返ってみますと、建築当時から指摘されていたことだが、雑誌のフロアと談

話室がないことであった。談話室は当時贅沢であると言う意見もあったがこれができなかったことは蔦の絡まった図書館がひどすぎてこの図書館は実に立派で喜びが先にて、その点については図書館全体の盲点だったような気がしています。一方、オート・エレコンについては使用開始時から故障が多く、エレコンの能力を十分に発

## 八十周年記念図書館の思い出

栗沢 順吉

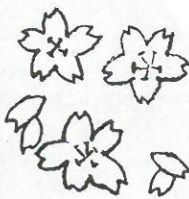
揮できないまま使用中止になってしまった。エレコンの採用は時期尚早だったかもしれない。

昭和五十年代に入ると図書館は保存から活動へと内面的充実へと向かうようになった。その象徴として、『図書館利用案内』が興味あるアイデアで賞をもらったり、図書館ニュースがKOSMOSに変更になり、

発行回数が年三回から四回になった。編集方針も教員中心で、どこか解説的な記事が多かったが、本館・工学部・朝霞を含めた、学生に役立ちそうな記事に変わってきた。この精神は今も引き継がれていると思う。他に興味あるものとしては、利用者からの苦情や要望をKOSMOSの中で解答していた。このことは利用者と図書館の共通の場としてKOSMOSが位置づけられていたように思う。その他に

学生希望図書制度の確立、図書館員全員が参加して収書委員会の発足、個性形成に関する資料収集など、今日の図書館活動方針の基本的枠組がこの時代に完成したような気がします。

（図書館員・くりさわじゅんきち）



長年皆さんに愛用されてきた八十周年記念図書館は、平成七年五月で幕を閉じ、六月から新しい図書館がオープンします。

## 図書館アラカルト

### 学生証（IDカード）と図書館の利用

平成七年度から学生証が磁気カード化されます。いわゆる、IDカード化です。これにより、学生証の多機能化が可能となりましたが、そのひとつとして、『図書貸出カード』の機能を付け加えることになりました。

したがって、図書館では、これまで独自に発行していた「館外貸出カード」を廃止します。もちろん、貸出カードの発行手続きも無くなります。

今後は、学生証が貸出カードを兼ねることになりますので、図書の貸出を希望する学生の皆さんは、学生証を必ず携帯のうえ来館してください。なお、所持していない場合や紛失などによる再発行期間中の措置については、まだ未定ですので、決まり次第、掲示等でお知らせします。

特に、六月に開館する白山の新図書館は学生証が無いと入館できませんし、館内での各種サービスも利用できません。これま

で学生証を常に携帯するという習慣がありませんでしたから、学生の皆さんが慣れるまで、図書館としても柔軟に対応していくつもりですが、一日も早く慣れるよう努力してもらいたいと思います。

### 集まれ!!

#### 図書館ガイダンス・図書館ツアー

新年度スタートにあたり、図書館ガイダンスや図書館の裏側まで見ることができ、図書館ツアーを開催します。日時につきましては各図書館の掲示等でお知らせ致しますので、ぜひご参加下さい。

### 重要文化財「狭衣」を受入

伝二条為明筆による鎌倉時代の古写本『狭衣』（四帖、列帖装柙型本）を白山図書館に受入れました。

### 『東洋大学所蔵資料図録』刊行

この図録には、主に図書館所蔵の貴重書の図版および解説がカラーで掲載されています。ふだん直接手にとることができない貴重書を身近に感じて頂ける一冊です。

### 六月一日 新図書館オープン

白山図書館は四～五月の間、一部閲覧室及びレファレンスサービスの利用のみ可能です。他のサービスは停止しております。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、六月からは新図書館が誕生します。ご期待下さい。



外国の図書館シリーズ  
—その12—

カリフォルニア州立  
サクラメント大学

紀 葉子

「カリフォルニアの州

都はどこでしょうか」という質問に正解する人は必ずしも多くないと思います。ロスアンジェルズやサンフランシスコ、あるいはサンディエゴといった知名度の高い都市ではなく、ちょっと内陸に入った閑静な都市、サクラメントが州都なのです。実際に、大都市の喧噪から逃れるようにこの街に入ると、ほっとひと心地つく人も少なくないように思われます。そのサクラメントにある州立大学の特徴は、クリミナル・ジャスティス（あえて日本語に訳すと「犯罪学」）という専攻がおかれていること、先住民に関する資料が残されていることでしょうか。最も早い時期に「開拓」されたサクラメントには、先住民の人々の文化遺産も散見されます。大学の図書館の中にも常時、先住民の歴史的遺産が展示されていま

す。大学図書館は、学生の自治組織のコミュニケーションセンターの隣にあり、図書館前の芝生には日本のシマリスの2倍はありそうなタイワンリスが遊んでいます。図書館内で資料を複写するためのコピーカードをコミュニケーションセンターで購入し、図書館の3階へ上り、文献検索の端末機のキーボードを叩くことから仕事が始まります。レポート課題を抱えている学生たちは、キーワードを打ち込み、関連する論文や文献のリストをプリントアウトし、マイカーでチェックしながら、各フロアの書棚を渡り歩きます。とりわけ古い文献になると、マイクロ・フィッシュになってるので、専用の部屋で閲覧コピーすることになります。東洋大学と大きく異なる点は、夕暮れどきになると子連れの学生の姿が見られることでしょうか。



学生パトロール巡回姿

赤ちゃんを連れてるのは必ずしも女子学生とは限りません。昼間は大学の託児所に預けられるので、小さな子供のいる夫婦も安心して大学で学べる訳です。感心なのはしつけがしっかりしていること。図書館の中で騒ぐような子供はひとりとしていません。ただ問題は治安の悪さ。クリミナル・ジャスティスの学生パトロールがキャンパス内を巡回しているにもかかわらず、レイプ事件が起きたばかりとあって、日が沈んでからの女性の独り歩きは厳禁でした。女性に不利なことがあまりに多い日本社会ですが、治安の良さだけは、唯一女性の味方なのかもしれません。

（社会学部助教授・きのようこ）

ΚΟΣΜΟΣ (No.109)

1995年3月31日発行

発行人：今井光太郎

発行所：東洋大学図書館

〒112 文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7314

© 東洋大学図書館 1995